



平成25年7月4日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

旬な現場

お知らせ

名古屋港高潮防波堤の改良工事を報道機関の皆様に公開します。

～南海トラフ巨大地震に対しても粘り強く防護効果を

発揮する防波堤に改良します～

●概要

昭和34年(1959年)9月に来襲した台風21号(伊勢湾台風)により、名古屋港及び背後地域で高潮による甚大な被害が発生したため、高潮対策として昭和37年(1962年)に名古屋港高潮防波堤工事が着工され、昭和39年(1964年)に完成しました。

しかし、完成から約50年が経過しており、老朽化と大規模地震による沈下や津波、また高潮に対する防護効果の低下が懸念されています。このため、東日本大震災の教訓を踏まえ、南海トラフ巨大地震に対しても粘り強く津波防護効果を発揮するよう、防波堤の改良工事を行っています。

このたび、高潮防波堤の改良工事を報道機関の皆様に公開します。

●日時・場所

日時:平成25年7月 11日(木) 14:00～16:00

場所:高潮防波堤鍋田堤(船で現場まで移動)

(13:50までに添付の「名古屋みなと建設工事村」に集合願います)

●取材について

取材を希望する場合は、別添の「取材申込書」により、事前にFAXでお申込みください。

(※切日は、平成25年7月10日(水)15:00 必着)

※中止が決定した場合は、当日の10:00頃までにご連絡いたします。

※取材当日は、「名古屋みなと建設工事村」にて受付願います。

※周辺には公共交通機関がありませんので車等でお越しが便利です。

※集合場所には駐車スペースがあります。

●その他

中部地方整備局では、河川や道路、港湾の整備における38の現場を「旬な現場」として見学を受け付けています。

HP アドレス http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/index.htm

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 赤石工務課長、黒川企画調整課長

Tel 052-651-6266 Fax 052-652-0303

恩田保全課長

Tel 052-398-1626

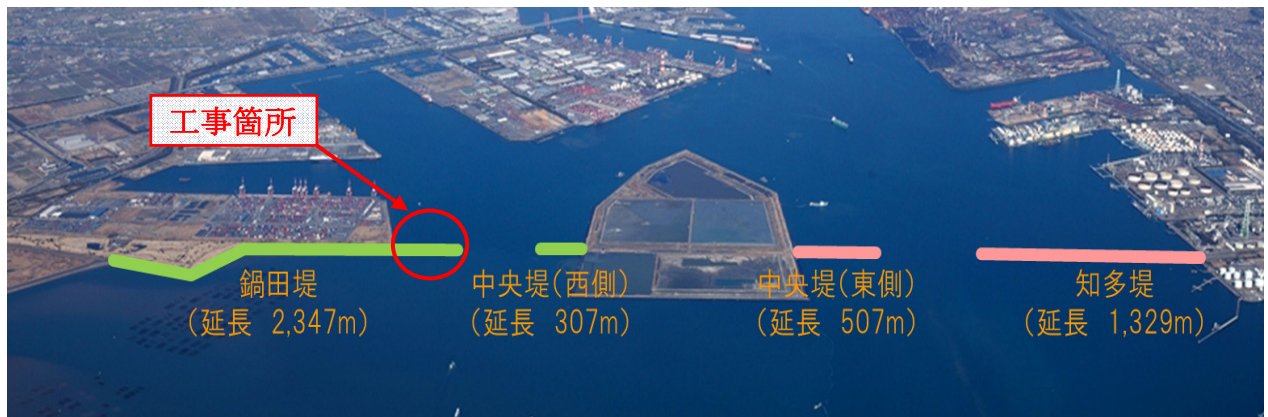
高潮防波堤改良工事の概要

● 高潮防波堤の改良工事箇所

改良工事箇所は、高潮防波堤のおよそ4.5kmです。

現在、工事を実施している場所は、鍋田堤と中央堤(西側)です。今後は、順次、中央堤(東側)、知多堤側も工事を実施していきます。

今回、見学いただく場所は鍋田堤の工事箇所です。当日はケーソン内の中詰砂を撤去するためのコンクリート切断作業を行っています。



● 高潮防波堤の改良目的・改良内容

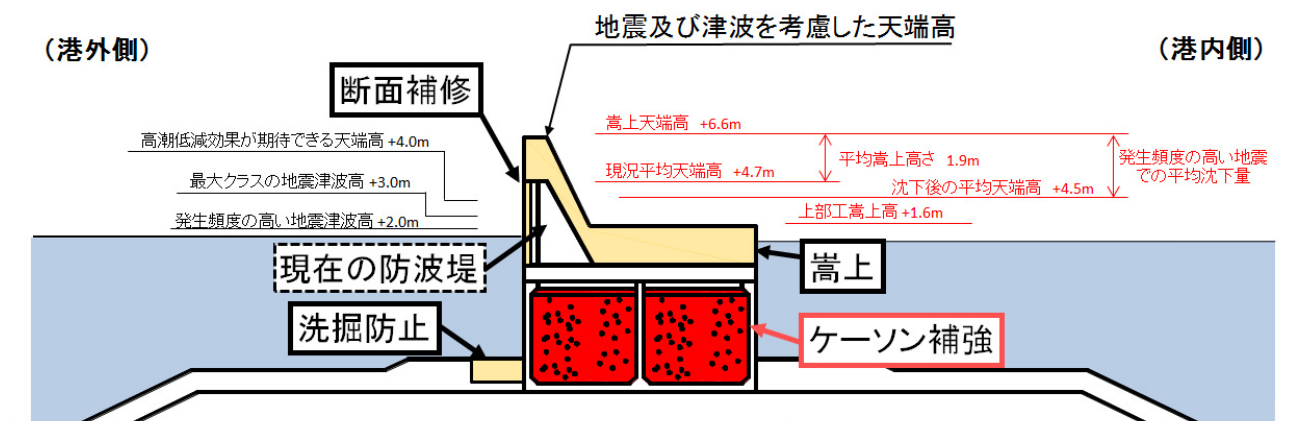
高潮防波堤改良後の効果として、発生頻度の高い地震及び津波の後でも本来の防波堤の機能が損なわれないようにします。

- ①地震後でも伊勢湾台風クラスの高潮にも対応
- ②津波を越流させない

高潮防波堤の本体となるケーソンの中には中詰砂が入っていますが、嵩上げすることにより上載荷重が増加し、さらに波圧も増加するためケーソンの底版及び側壁が破損し、中詰砂が流出して防波堤の機能を失うこととなります。

そのため、中詰砂にセメントを添加した改良材を、ケーソン内部へ埋め戻してケーソン本体の補強を図ります。

併せて、港外側堤幹部の洗掘防止対策として根固ブロックの設置や、ケーソン壁面の老朽化対策として断面補修を行います。



※高さは全て「T.P.」で表示している。

取材申込書

申し込み方法：以下にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

会社名・部署名		
取材者	代表者氏名	
	同行者氏名	
	同行者氏名	
連絡先	電話番号	
	FAX番号	

申込締切：平成 25 年 7 月 1 0 日（水）15:00 必着

※取材希望者が多数の場合(定員20名程度に達した場合)は、締め切り前でも受付を終了させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

※天候の状況により、現場公開を中止する場合があります。

※中止が決定した場合は、当日の10:00頃までには中止の連絡をさせていただきます。

※取材当日は13:50までに「名古屋みなと建設工事村」へお集まりください。

送付先:国土交通省 中部地方整備局

名古屋港湾事務所 企画調整課

Fax 番号: 052-652-0303

集合場所



名古屋みなと建設工事村
住所：愛知県弥富市楠 3-26